

## 資料編

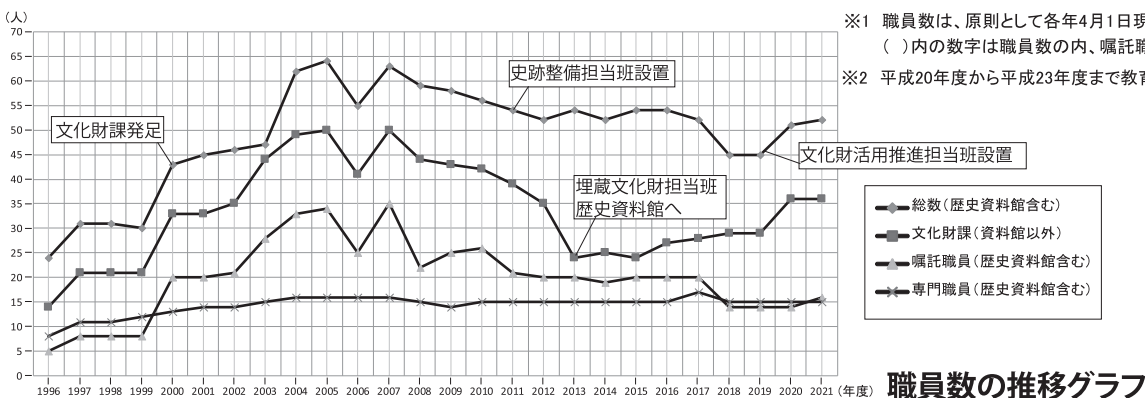
大分市教育委員会における文化財行政組織の変遷①

平成8年度(1996)4月～平成12年度(2000)

	平成8年度 1996	平成9年度 1997		平成10年度 1998	平成11年度 1999		平成12年度 2000
<b>文化振興課</b>			<b>生涯学習課</b>			<b>文化財課</b>	
課長 .....	1	1	課長 .....	1	1	課長 .....	1
参事 .....	1	1	参事 .....	1	1	課長補佐.....	1
主幹 .....	※1	1	主幹 .....	1	1	主幹 .....	1
<b>文化財室</b> .....	12(3)	18(6)	<b>文化財係</b> .....	18(6)	18(6)	<b>文化財係</b> .....	30(18)
<b>合計(人)</b>	<b>14(3)</b>	<b>21(6)</b>	<b>合計(人)</b>	<b>21(6)</b>	<b>21(6)</b>	<b>合計(人)</b>	<b>33(18)</b>
<b>大分市歴史資料館</b>			<b>大分市歴史資料館</b>			<b>大分市歴史資料館</b>	
館長 .....	1	1	館長 .....	1	1	館長 .....	1
管理係 .....	4(1)	4(1)	管理係 .....	4(1)	4(1)	学芸業務係 ..	9(2)
学芸調査係 ..	5(1)	5(1)	学芸調査係 ..	5(1)	4(1)	<b>合計(人)</b>	<b>10(2)</b>
<b>合計(人)</b>	<b>10(2)</b>	<b>10(2)</b>	<b>合計(人)</b>	<b>10(2)</b>	<b>9(2)</b>	<b>合計(人)</b>	<b>10(2)</b>

平成13年度(2001)4月～平成22年度(2010)4月

	平成13年度 2001	平成14年度 2002	平成15年度 2003	平成16年度 2004	平成17年度 2005	平成18年度 2006	平成19年度 2007	平成20年度 2008	平成21年度 2009	平成22年度 2010
<b>文化財課</b>										
課長 .....	1	1	1	1	1	1	1	1	1※2	1
課長補佐 .....									1	2
参事 .....		1	1	1	1	1	1	1	1	
主幹 .....	1								1	
<b>管理係</b> .....	3	5	6	6	7	8	7	8	8	8
<b>文化財係</b> .....	28(18)	28(17)	36(24)	41(28)	41(28)	31(19)	41(28)	31(12)	28(15)	28(15)
大友氏遺跡体験学習館								3(3)	3(3)	3(3)
<b>合計(人)</b>	<b>33(18)</b>	<b>35(17)</b>	<b>44(24)</b>	<b>49(28)</b>	<b>50(28)</b>	<b>41(19)</b>	<b>50(28)</b>	<b>44(15)</b>	<b>43(18)</b>	<b>42(19)</b>
<b>大分市歴史資料館</b>										
館長 .....	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
副館長 .....	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1
職員 .....	10(2)	10(4)	10(4)	11(5)	12(6)	12(6)	11(7)	12(7)	12(7)	12(7)
<b>合計(人)</b>	<b>12(2)</b>	<b>12(4)</b>	<b>12(4)</b>	<b>13(5)</b>	<b>14(6)</b>	<b>14(6)</b>	<b>13(7)</b>	<b>15(7)</b>	<b>15(7)</b>	<b>14(7)</b>



※1 職員数は、原則として各年4月1日現在の数とした。  
 ( )内の数字は職員数の内、嘱託職員・会年度任用職員  
 ※2 平成20年度から平成23年度まで教育総務部長兼文化財課長

職員数の推移グラフ

大分市教育委員会における文化財行政組織の変遷②

平成23年度(2011)4月～平成29年度(2017)4月

		平成23年度 2011	平成24年度 2012			平成25年度 2013	平成26年度 2014	平成27年度 2015	平成28年度 2016	平成29年度 2017
文化財課	課長 .....	1	1	文化財課	課長 .....	1	1	1	1	1
	課長補佐 .....	2			参事 .....	1	3	2	3	2
	特別顧問 .....		1		特別顧問 .....	1	1	1	1	
	主幹 .....		1		参事補 .....	1				
	管理普及担当班 .....	9(1)	8		管理庶務担当班 .....	4	4	4	4	4
	大友氏遺跡体験学習館 <sup>※3</sup> .....	3(3)			史跡整備担当班 .....	8(2)	6(2)	6(2)	7(2)	11(4)
	史跡整備担当班 .....	10(2)	7(1)		大友氏遺跡体験学習館 .....		4(4)	4(4)	4(4)	2(2)
	大友氏遺跡体験学習館 .....		3(3)		文化財保護担当班 .....	8(1)	6(1)	6	7(1)	8(2)
	埋蔵文化財担当班 .....	14(8)	14(8)		合計(人)	24(3)	25(7)	24(6)	27(7)	28(8)
	合計(人)	39(14)	35(12)							
大分市歴史資料館	館長 .....	1	1	大分市歴史資料館	館長 .....	1	1	1	1	1
	副館長 .....	2	2		副館長 .....		1	2		
	顧問 .....		1		顧問 .....	1	1	1	1	
	係員 .....	12(7)	13(8)		学芸普及担当班 .....	13(7)	13(6)	13(6)	13(6)	12(6)
	合計(人)	15(7)	17(8)		大友氏遺跡体験学習館 .....	4(4)				
					埋蔵文化財保存活用センター					
			埋蔵文化財担当班 .....	11(6)	11(6)	13(8)	12(7)	11(6)		
			合計(人)	30(17)	27(12)	30(14)	27(13)	24(12)		

平成30年度(2018)4月～令和3年度(2021)4月

		平成30年度 2018	平成31年度 2019	令和元年度 2020	令和2年度 2021
文化財課	課長 .....	1	1 <sup>※4</sup>	1 <sup>※5</sup>	1
	政策監 .....	1	1	1	1
	参事 .....	1	1	1	1
	専門官 .....				1
	管理庶務担当班 .....	4	4	4	4
	史跡整備担当班 .....	5(1)	5(1)	7(1)	8(1)
	文化財保護調整担当班 .....	8(2)	8(2)	9(2)	9(2)
	文化財活用推進担当班 .....	6(2)	6(2)	9(1)	7(3)
	南蛮B V N G O交流館 .....	3(3)	3(3)	4(4)	4(4)
	合計(人)	29(8)	29(8)	36(8)	36(10)
大分市歴史資料館	館長 .....	1	1	1	1
	学芸普及担当班 .....	6	6	5	5
	学芸調査担当班 .....	5(2)	5(2)	4(2)	6(2)
	埋蔵文化財保存活用センター	4(4)	4(4)	5(4)	4(4)
合計(人)	16(6)	16(6)	15(6)	16(6)	

【文化財課の沿革】

昭和51年(1976)4月1日  
大分市教育委員会社会教育課内に文化財係を設置  
昭和59年(1981)6月28日  
大分市教育委員会社会教育課文化財室に改組  
平成5年(1993)4月1日  
大分市教育委員会文化振興課文化財室に改組  
平成10年(1998)4月1日  
大分市教育委員会生涯学習課文化財室に改組  
平成12年(2000)4月1日  
大分市教育委員会文化財課に改組  
平成13年(2001)4月1日  
大分市教育委員会教育総務部文化財課に改組  
平成21年(2009)4月1日  
大分市教育委員会教育部文化財課に改組  
平成25年(2013)4月1日  
大分市埋蔵文化財保存活用センターを設置

【歴史資料館の沿革】

昭和62年(1987年)4月1日  
大分市教育委員会 歴史資料館として開館。  
平成12年(2000年)4月1日  
大分市教育委員会文化財課 歴史資料館に改組

※3 大友氏遺跡体験学習館の所属班は管理普及担当班(H23)→史跡整備担当班(H24)→大分市歴史資料館学芸普及担当班(H25)→史跡整備担当班(H26～29)→文化財活用推進担当班(H30.7まで)へと推移する

※4 令和元年度から教育部次長兼文化財課長  
※5 令和2年度から教育部審議監兼文化財課長

# 大友氏遺跡事業年表①

府内のまちの形成がはじまる鎌倉時代の終わりごろから令和3年12月を対象に、大友氏館跡を軸にした土地利用変遷と大友氏遺跡事業及び大分市のまちづくりを年表としてまとめた

時代	西暦	和暦	大友氏遺跡整備事業・館周辺の土地に関すること	市内・県内の出来事	大友氏に関する歴史事象・調査研究成果・イベント	国内・世界の出来事
南北朝	1306年	徳治元	・万寿寺建立(5代当主 大友貞親) 府内のまちの形成始まる			・1333年 鎌倉幕府滅亡
	1380年代		・大友館築造か(10代当主 大友親世の頃)【館遺構変遷 Ⅰ期】			・1368年 朱元璋が明建国
室町・戦国	1450年代		・大友館改修(15代当主 大友親繁の頃)【館遺構変遷 Ⅱ期】			・1392年 南北朝の合体
	1500年前後		・大友館大規模改修(19代当主 大友義長の頃)【館遺構変遷 Ⅲ期】			・1467年～77年 応仁の乱
	1530年	享禄3			・大友義鎮(宗麟)生まれる	・1488年 ポルトガルのディアス喜望峰到着 (大航海時代の本格化)
	1550年前後		・大友館2町四方に包括(21代当主 大友義鎮の頃)【館遺構変遷 Ⅳ期】			・1517年 ルターの宗教改革はじ
	1551年	天文20		・二階崩れの姿	・フランシスコ・ザビエル大友館で宗麟と会見	・1534年 イエズス会設立
	1570年前後	天正元年前後	・大友館改修(22代当主 大友義統の頃)【館遺構変遷 Ⅴ期】			・1543年 ポルトガル人種子島に漂着
	1586年	天正14	・島津氏の府内侵攻により大友館廃絶	・島津氏による府内侵攻		・1573年 室町幕府滅亡
	1587年～1602年		・大友館の跡地東側一体に町家が侵入【館遺構変遷 Ⅵ期】			・1580年 スペインがポルトガル併合
	1602年頃	慶長7	・府内の町が近世府内城下に移転以後、大友館及び府内のまちの遺跡化進む			・1582年 天正遣欧使節 西
	1633年	寛永10	・大風により大臣塚古墳(大分市元町)の主体部である箱式石棺が露出			・1585年 豊臣秀吉が関白就任
江戸	1635年	寛永12	・府内藩主日根野吉明の指示のもと大臣塚古墳の不時発見の状況と経緯を石碑に記録の上、埋め戻される ・この頃、「府内古図」(A類)描かれる			・1587年 バレレン追放令
	1650年	慶安3	・府内藩主日根野吉明による初瀬井路開削。以後、館跡地の大部分が水田化。中心建物周辺の地形の高い部分は畑地化			
	18～19世紀		・「府内古図」の考証が進み、複数の「府内古図」(B・C類)が描かれる			
	1868年～	明治元	・大友館の痕跡(地割)を残しつつ引き続き耕作地として利用			
明治	1878年	明治11	・まごもヶ池(大分市六坊北町)にて大友親世の墓が再建される(旧大友家家臣の子孫による)			10月 明治天皇即位
	1911年	明治44		・大分駅開業 ・大分市制施行		
	1912年	大正元	・大友館の痕跡(地割)を残しつつ引き続き耕作地として利用			7月 大正天皇即位
大正	1915年	大正4	・『大分市史』において、「大友役所」と記載された施設が描かれた古絵図が「舊府内城下圖」として紹介される		大分県大分市編『大分市史』刊行される	
	1919年	大正8				史跡名勝天然記念物保存法制定
	1924年	大正10	・九州沖縄八県連合共進会(第14回)が大分市新川で開始され、朝倉文雄氏による大友宗麟像が設置される		・大友宗麟顕彰会(代表高山英明 <sup>(註1)</sup> )による『宗麟』出版	
	1924年	大正13			・大友宗麟公に従三位が贈られる	
	1926年～	昭和元	・大友館の痕跡(地割)を残しつつ引き続き耕作地として利用			12月 昭和天皇即位
	1931年	昭和6	・市政施行20周年記念事業として上原館跡に「西山城趾」の石碑を建立(高山英明市長による)		※この頃、顕徳町より「花カルス」が刻まれた方形石造物が出土(発見年代は不明)若宮八幡宮へ移される	
昭和	1934年頃	昭和9	・大分市発行の地図「大分市鳥瞰図」(大分市歴史資料館蔵)の顕徳町の付近に「切支丹遺跡」と記載される <sup>(註2)</sup>			
	1936年	昭和11	・若宮八幡社境内に「贈従三位 大友宗麟公記念碑」建てられる(大分県教育委員会・大分市教育会・大友宗麟顕彰会による)			
	1937年	昭和12	・大分市制20周年を記念して、大分新聞社が寄付を募り、春日浦(大分市勢家町)に「大友宗麟公像」が建てられる 後に、金属供出により撤去			
	1945年	昭和20			・7月 米軍による空襲で大分市中心部焼失	
	1948年	昭和23	・1月、3月米軍による大分市街地・大友氏館跡周辺の空中写真が米軍により撮影される			
	1950年	昭和25				文化財保護法制定
	1951年	昭和26	・万寿橋(国道10号跨線橋)起工			
	1953年	昭和28	・万寿橋(国道10号跨線橋)竣工 国道10号が館北東部を縦断することとなる	・高崎山自然動物園 開園		
	1955年	昭和30	・『大分市史』上巻にて、中世から現在までに位置が不変と考えられる建物等を基準として古絵図を現代の地図上に比定する作業が試みられる。大友氏館跡にあたる「大友屋敷」の位置は、概ね現在の史跡指定地付近に比定されていた		・大分市史編纂審議会編『大分市史』上下巻刊行される	
	1957年	昭和32	大分協同乳業の工場が万寿寺跡に建設される			
	1958年	昭和33	・春日浦の「大友宗麟公像」が市民の要望により再建される(上田保市長を会長とする大友宗麟公像復元委員会による)	・大分駅新駅舎・駅前広場完成		
	1959年	昭和34	・3月 デウス堂推定地(現在の顕徳町2丁目)に木製の「デウス堂趾」説明看板が設置される			
	1961年	昭和36	・この頃大友館跡地の中央東側(中心建物周辺)宅地化 ・市の誘致により大友館庭園跡地に森産業の工場が建設される			草戸千軒遺跡(広島県福山市)の発掘調査が始まる(～1991)
	1963年	昭和38		・新大分市誕生(2市3町1村合併、人口約21万人)		
1964年	昭和39	・4月1日 顕徳町 成立				
1966年	昭和41		・弁天大橋完成 臨海産業道路整備 西大分-大分間複線化 大分文化会館開館 城址公園開園 大分国体開催			朝倉一栗谷遺跡(福井県福井市)の発掘調査が始まる 日本の人口が1億人を突破
1967年	昭和42			・大分市坂ノ市丹生の畑でキリシタン遺物発見		

## 大友氏遺跡事業年表②

時代	西暦	和暦	大友氏遺跡整備事業・館周辺の土地に関すること	市内・県内の出来事	歴史事象・調査研究成果 イベント	国内・ 世界の出来事	
昭和	1969年	昭和44	・12月 遊歩公園（大分市大手町）に聖フランシスザビエル像が建てられる（大分県キリシタン史跡顕彰会 上田保による）				
	1970年前後	昭和45 年頃	・大友館跡地全面の宅地化進む ・館跡地西側に大分市立金池保育園開園				
	1971年	昭和46	・10月 遊歩公園（大分市大手町）に西洋音楽発祥記念碑が建てられる（株式会社 マリンパレス社長 上田保による）	・10月 大分空港移転			
	1972年	昭和47	・10月 遊歩公園（大分市大手町）に西洋美術発祥記念像が建てられる（株式会社 マリンパレス社長 上田保・糸永求による）			高松塚古墳（奈良県奈良市）壁画発見。考古学ブーム	
	1973年	昭和48	・10月 遊歩公園（大分市大手町）に育児院と牛乳の記念碑が建てられる（株式会社 マリンパレス社長 上田保による）				
	1974年	昭和49	・10月 遊歩公園（大分市大手町）に西洋劇発祥記念碑が建てられる（株式会社 マリンパレス 社長 上田保による）				
	1975年	昭和50	・10月 遊歩公園（大分市大手町）に伊東ドンマンシヨ像が建てられる（株式会社 マリンパレス社長 上田保・糸永求による）			文化財保護法改正	
	1976年	昭和51	・万寿橋歩道部完成。国道金池バイパス開通				
	1977年	昭和52				・5月 高崎山のサルとともに、ローマ親善使節団（市内の小中学生10名）を派遣＜昭和の遣欧使節＞ 大分市主催	博多遺跡群（福岡県福岡市）の調査が本格的に始まる
	1978年	昭和53	・11月 デウス堂推定地（現在の顕徳町2丁目）に「デウス堂跡」の石碑が設置される（大分市教育委員会設置）				
	1982年	昭和57	・大分駅前広場に「大友宗麟公像」建立 ・天正少年遣欧使節400周年事業の開催		・10月 『大友宗麟公と天正少年遣欧使節』展の開催 大分県立芸術会館にて	東京ディズニーランド開園	
	1984年	昭和59		・大分合同新聞社創刊百周年を記念し、大友宗麟の成長を描いた『国東物語』上映される			
	1987年	昭和62	・『大分市史』中巻付図において「戦国時代の府内復原想定図」が作成される。「大友館」は国道10号以南・以東、日豊本線以北の顕徳町3丁目南東部のおよそ二町四方の土地に比定される	・大分市歴史資料館開館		国鉄民営化	
1988年	昭和63			・大分市史編さん委員会『大分市史』下巻の刊行			
平成	1989年	平成元				1月 平成天皇即位	
	1990年	平成2	・大分駅周辺総合整備構想策定	・平和市民公園 能楽堂オープン			
	1991年	平成3				2月 1986年12月からのバブル経済終了	
	1992年	平成4			・10-11月 大分市歴史資料館開館5周年記念特別展『覇権をめざした英雄達 大友宗麟とその時代』展開催		
	1995年	平成7	・4月 「大分市の都市計画に関する基本計画」【大分市総合都市整備基本計画の骨子】の中で、歴史遺産を活用したまちづくりとして、大分市中心部における3時代の都市変遷と、大友館跡を含む路上博物館構想が示される ・大友氏館跡内にあった森産業の工場が移転する ・駅南土地地区画整理事業都市計画決定 ・連続立体交差事業都市計画決定	・大分市総合都市整備基本計画策定		1月 阪神淡路大震災	
	1996年	平成8	・連続立体交差事業認可 ・駅南土地地区画整理事業認可 ・大分駅周辺総合整備事業に伴う仮換地として大友館推定地の遺跡確認	・九州横断自動車道（大分道）開通 ・2010大分市総合計画策定			
	1997年	平成9		・大分市が中核市に移行			
	1998年	平成10	・大友氏館跡第1次調査が実施され大友氏館跡の庭園跡であることを確認	・大分県立総合文化センター完成 ・10月 第13回国民文化祭開催		2月 長野オリンピック開催 12月 NPO法制定	
	1999年	平成11	・3月 大友氏館跡が国指定史跡として保存の方向性が打ち出される。 ・国庫補助事業による大友氏館跡範囲確認調査を実施 ・8月 市長の諮問機関として「大友氏遺跡検討委員会」を設置	・2月 大分市美術館オープン ・3月 七瀬川自然公園完成 ・12月 六坊新中島線事業認可			
	2000年	平成12	・大友氏館跡第7次調査で館の北外郭施設を発見	・2月 中安遺跡（現 城原・里遺跡）で海部国衙跡発見。遺跡保存問題に発展		前期旧石器器造事件	
	2001年	平成13	・8月13日 大友氏館跡の一部が国史跡に指定される			1月 中央省庁再編（国土交通省など発定） 3月 ユニバーサルスタジアムジャパンが開園 5-6月 2002FIFA日韓ワールドカップ開催	
	2002年	平成14	・3月 「大友遺跡検討委員会報告書-大友遺跡群活用まちづくり検討報告-」が提出される（大友遺跡検討委員会） ・7月 大分市美術館 特別企画展 大分現代美術館2002『アート循環系サイト』において、大友氏館庭園跡の埋め立て地に土のオブジェ「土の記憶」制作（大久保英治作） ・12月 高架本体工事起工式、工事着手	・4月 パークプレイス大分オープン ・5月-7月 大分現代美術館2002『アート循環系サイト』開催 ・6月 2002FIFA日韓ワールドカップ3試合がビッグアイで開催される ・11月 「2010大分市総合計画」第2次基本計画策定			
	2003年	平成15	・12月 国道10号万寿跨線橋仮橋設置工事着手				
	2004年	平成16	・市教育委員会に「大友氏遺跡を活かしたまちづくり検討委員会」を設置。 ・大分市都市計画マスタープランにおいて、大友氏遺跡を歴史文化観光拠点に位置付ける ・12月 国道10号万寿跨線橋仮橋供用開始	・3月 まちづくり交付金大分駅周辺地区都市再生整備計画(第1期計画)の大臣同意 ・4月 大分マリンパレス水族館「うみたまご」オープン			
	2005年	平成17	・3月 旧万寿寺地区の追加指定（第5次）に際し、史跡の指定名称が大友氏館跡から大友氏遺跡に改称される	・1月 大分市、佐賀関町・野津原町を編入合併	・3月-11月 国立歴史民俗博物館による特別展『東アジア中世海道』展で大友氏の遺跡から出土した遺物が多数展示される	平成大合併ブーム（～2007年まで）	
	2006年	平成18	・2月 国道10号万寿逆立体交差工事 ・3月 「大友氏遺跡を活かしたまちづくり検討委員会報告書」が提出される（大友氏遺跡を活かしたまちづくり検討委員会） ・3月 都市計画法による公園区域指定『大友氏館跡歴史公園』（約6.5ha）				
	2007年	平成19	・1月 都市計画法による都市計画公園事業認可 『大友氏館跡歴史公園』（大友氏館跡の一部：3.68ha） ・3月 六坊新中島線(日豊本線横断部除く)供用開始	・3月 大分駅付近連続立体 ・7月 「大分市総合計画」策定 「大分市景観計画」策定		3月 能登半島地震 7月 新潟県中越地震	

# 大友氏遺跡事業年表③

時代	西暦	和暦	大友氏遺跡整備事業・館周辺の土地に関すること	市内・県内の出来事	歴史事象・調査研究成果 イベント	国内・世界の出来事	
平成	2008年	平成20	・4月 旧万寿寺地区に大友氏遺跡体験学習館をオープン ・大友氏館と第21次調査で中国元時代の梅瓶（青花）や夜学型器台（青磁）を発見	・7月 大分市中心市街地活性化基本計画認定 ・8月 豊肥・久大本線大分駅高架開業 ・9月 「チャレンジおおい」国体・大分大会」開催	・3月 大友館の規模が2町×1町の長方形であった可能性が提起される。 〔高橋徹・小柳和宏「中世府内の大友館考-府内古園からみた大友館の所在地および規模について」大分県立歴史博物館研究紀要9〕	9月 リーマンショック(世界的金融危機)	
	2009年	平成21	・12月 都市計画法による都市計画公園事業の変更認可『大友氏館跡歴史公園』（従来の範囲に大友氏館跡南端を一部追加）4.09ha	・3月 まちづくり交付金大分駅周辺地区都市再生整備計画(第2期計画)の大臣同意 ・10月 大分ホーパーフリーの運航休止	10月 大分新能が豊後府内城跡で実施「豊後府内城跡新能の会」主催 文化庁大分県地域文化芸術推進事業 櫻間右衛門・野村萬斎 新作能「宗麟」演じられる	5月 裁判員制度開始。民主党政権発足	
	2010年	平成22		・4月 大分駅南口駅前広場工事着手 ・9月 野津原市民センターオープン ・11月 シンボルロード工事着手			
	2011年	平成23	・3月 都市計画法による公園区域の変更『大友氏館跡歴史公園』（大友氏館跡に推定御蔵場跡を追加）計9.5ha	・1月 大道陸橋撤去着手、国道210号全面通行止め開始 ・6月 大道陸橋撤去完了、国道210号全面通行止め解除 ・10月 大分市誕生100年記念式典の開催 ・12月 「大分市総合計画」第2次基本計画策定		3月 東日本大震災	
	2012年	平成24	・3月 都市計画法による公園区域の変更、名称の変更『大友氏遺跡歴史公園』（旧万寿寺地区を追加）計17.5ha ・5月 都市計画法による都市計画公園事業の変更認可『大友氏遺跡歴史公園』（旧万寿寺地区の一部を追加）0.55ha ・大友氏館庭園跡の整備事業に伴う発掘調査に着手 ・大友氏遺跡保存管理計画と整備基本構想の検討に着手 ・大友氏館と第28次調査で、東側の築地を発見	・2月 別大国道完全6車線化完了 ・3月 シンボルロード及び南口駅前広場の車道部供用開始 日豊本線開業により大分駅高架全線開業、記念式典開催	・12月 フェスティバタス・ナタリスin Bungo開催	5月 東京スカイツリーが開業	
	2013年	平成25	・3月 国道10号古国府拡幅完成 ・3月 市道六坊新中島線完全供給開始 ・10月 「大友氏遺跡保存管理計画・整備基本構想検討委員会」の設置 ・10月 庄の原佐野線大分川の橋梁工事着手 ・12月 市役所庁内に「大友氏を活かしまちづくり」庁内検討委員会」の設置 ・大友氏館跡第29次から第34次まで庭園整備に向けた発掘調査を開始	・3月 ホルトホール大分完成、大分市へ引渡シンボルロード北側広場の市民植樹祭開催 ・7月 シンボルロードの愛称が大分「いこの道」に決定 ホルトホール大分と大分「いこの道」北側広場オープン、記念式典開催 ・10月 大分文化会館が47年の歴史に幕	・2月 キリシタン・南蛮文化交流協定協を締結 ・3月 大友宗麟プロモーション検討委員会より「大友宗麟プロモーションに関する報告書」出される ・5月 大分市教育委員会が制作した小学校6年生用副読本『府内から世界へ大友宗麟』市内全小学校へ配布はじまる ・11月 南蛮文化発祥都市宣言記念イベント ・10月 宗麟まつり（第1回）開催（ホルトホール大分前 大分「いこの道」北側広場） ・7月～11月 国立歴史民俗博物館による特別展『時代を作った技-中世の技術革命-』展で大友氏の遺跡から出土した遺物が多数展示される ・9～11月 九州歴史資料館による特別展『戦国武将の誇りと祈り 九州覇権のゆくえ』展で大友氏の遺跡から出土した遺物が多数展示される	6月 富士山が世界文化遺産に登録 9月 2020年オリンピックの開催地が東京に決定	
	2014年	平成26	・3月 『史跡大友氏遺跡保存管理計画書』の策定 ・6月 「史跡大友氏遺跡整備基本計画検討委員会」の設置 ・10月 上原館跡の追加指定（第14次）	・11月 OITAサイクルフェス!!!初開催	・10～11月 大分県立歴史博物館『九州の戦国』が開催され大友氏の遺跡から出土した遺物が多数展示される ・10月 第2回宗麟まつり開催		
	2015年	平成27	・3月 大分市埋蔵文化財発掘調査報告書『大友氏館跡1』刊行 ・10月 推定御蔵場跡の追加指定（第15次） ・12月 史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）策定	・2月 ガレリア竹町ドーム広場の帆船モニュメント撤去 ・3月 北口駅前広場記念式典開催 ・4月 JR大分駅ビルオープン 大分県立美術館オープン ・7月 おおいトレンナレ2015開催	・4～5月 九州国立博物館開館10周年記念特別展『戦国大名 九州の群雄とアジアの波濤』が開催され大友氏の遺跡から出土した遺物が出展される ・10月 第3回宗麟まつり開催		
	2016年	平成28	・1月 大友氏館跡庭園整備検討委員会を設置 ・6月 大友氏遺跡整備検討委員会の設置 ・大友氏館庭園跡の基本設計作成	・6月 「大分市総合計画」おおい創造ビジョン2024策定 ・10月 第68回都市計画全国大会（大分県）開催 ・11月 「宗麟大橋」の名称が公募により決定	・10月 第4回宗麟まつり開催（大分駅府内中央口広場）	・4月 熊本地震発生、大分市で震度5弱を観測	
	2017年	平成29	・大友氏館庭園跡の実施設計作成 ・2月 唐人町跡の追加指定（第15次） ・3月 大分市埋蔵文化財発掘調査報告書『大友氏館跡2』刊行 ・大友氏館跡第36次調査で中心建物の詳細が明らかとなる	・3月 大分駅南土地区画整理事業竣工記念式典及び竣工記念シンポジウムの開催 ・3月 都市再生整備計画事業 大友氏遺跡歴史公園周辺地区 都市再生整備計画(第1期計画)の大臣同意	・6月 第5回宗麟まつりイベント「宗麟公の偉業と南蛮文化に触れる」 ・8月 『大友館と府内の研究-「大友家年中作法日記」を読む』刊行 ・10月 第5回宗麟まつり開催（大分駅府内中央口広場）		
2018年	平成30		・1月 第16回オープンカレッジin大分「ひらいた。おおい。～歴史、ひらいた。未来、ひらこぶ～」開催（主催 エンジン01文化戦略会議） ・10～11月 第33回国民文化祭・おおい2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおい大会 ～おおい大茶会～開催	・8月 小学校6年生用副読本の補完教材『大友宗麟と府内のまち』刊行 ・10月 第6回宗麟まつり開催（大分駅府内中央口広場）			
令和	2019年	平成31 令和元	・3月 大分市埋蔵文化財発掘調査報告書『大友氏館跡3』刊行 ・3月 『史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）令和元年度改訂版』策定 ・7月 大分県教育委員会が調査した大友氏の遺跡から出土した遺物の一部が「大分県府内大友氏遺跡出土品」として重要文化財に指定される	・9月 祝祭の広場完成式典挙行・供用開始 ・9～11月 ラグビーワールドカップ日本2019開催	・10月 第7回宗麟まつり開催（大分駅府内中央口広場）	4月 文化財保護法改正 5月 今上（令和）天皇即位 9月～11月 ラグビーワールドカップ日本2019開催	
	2020年	令和2	・3月 大友氏館跡庭園の竣功 ・6月 大友氏館跡庭園供用開始	・3月 都市再生整備計画事業 大友氏遺跡歴史公園周辺地区 都市再生整備計画(第2期計画)の大臣同意		3月～新型コロナウイルス感染症拡大	
	2021年	令和3	・10月 国指定史跡大友氏遺跡 大友氏館跡庭園遺構整備事業報告書刊行	・3月 大分県文化財保存活用大綱策定	・10月 第8回宗麟まつり・第20回大友氏遺跡フェスタを大友氏館跡で同時開催	新型コロナウイルス感染症拡大 7～9月 東京2020年オリンピック・パラリンピック開催	

年表作成にあたり、以下の文献を参考にした  
 大分駅南土地区画整理事業竣工記念文集編集委員会2017年『大分駅南土地区画整理事業竣工記念文集』県都・変貌－大分駅周辺総合整備事業－』  
 大分市2020年「(2)新旧府内の祭祀にみる歴史的風致」「大分市歴史的風致維持向上計画」  
 大分市教育委員会2014年『大友氏遺跡保存管理計画』、2017年『大友氏遺跡整備基本計画（第1期）』、2020年『大友氏遺跡整備基本計画（第1期）令和元年度改訂版』、2015年『大友氏館跡1』

註  
 1) 高山英明氏は4代大分市長でもある  
 2) 本文30頁に示す「大分今昔」に記載された「テウス堂址」の礎が建てられた場所である可能性が高い。

# 大友氏遺跡の主な広報及び活用事業の一覧①

実施年度	発行日・開催日	名称	内容
平成9年度 1997	平成10年3月15日	〔広報誌〕文化財だより 1996年度第6号	府内町跡の発掘調査を特集し、発掘調査による最新の成果を掲載。
平成10年度 1998	平成10年11月28日	大友氏館跡第1次・第2次調査現地説明会	参加者：700人
	平成11年3月15日	〔広報誌〕文化財だより 1997年度第7号	戦国時代の「国際都市Funai」の繁栄ぶりを示す南蛮貿易によってもたらされた出土陶器類や大友氏の歴史を特集し、発掘調査による最新の成果を掲載した。
平成11年度 1999	平成11年5月2日	大友氏館跡第1次・第2次調査現地説明会	参加者：1000人
	平成12年2月26日	大友氏館跡第3次～第5次調査現地説明会	参加者：100人
平成12年度 2000	平成12年5月14日	中世大友府内町跡第6次調査現地説明会	参加者：150人
	平成12年10月15日	大友氏館跡第6・7次調査現地説明会（県教委と共催）	参加者：150人
平成13年度 2001	平成13年7月15日	〔広報誌〕文化財だより 2001年度第10号	大友氏館跡の国史跡指定の答申を受け、中世大友再発見と題して発掘調査が語る中世大友府内町の様子や中世大友再発見フォーラムの告知など市民に向けて広く情報の発信を図った。
	平成13年8月25日～9月2日	「大友週間」	史跡指定を記念して、8月25日から9月2日の一週間を「大友週間」と銘打って各種記念事業を実施。
	平成13年8月29・30日	大友ウォーク「ビンゴで歩く南蛮都市府内」	中世府内町と大友氏ゆかりの史跡を、ビンゴ形式のクイズにしながら散策した。
	平成13年8月26日(雨天で延期)	高崎山城登城「大友宗麟・義統のお城に登ろう」	昔の登城ルートで高崎山城に登り、山頂では現地説明会を開催した。
	平成13年8月28～31日	夏休み特別連続講座「大友氏、大友宗麟についてもっと知ろう」	歴史資料館にて4日連続で大友氏、大友宗麟について講座を行った。
	平成13年8月28日～9月2日	「知ってるつもり!?大友宗麟」	市民図書館に大友氏関係の本を集めたコーナーを設置。
	平成13年8月26～28日	バスツアー「見たい!知りたいたい!宗麟のまちめぐり」	大友氏ゆかりの史跡、発掘現場をめぐるバスツアーを3日間実施する。
	平成13年8月29・30日	宗麟茶会	コンパニホールにおいて出土した茶器の展示と茶会を行った。
	平成13年9月1日・2日	中世大友再発見フォーラム	参加者：約1000人（二日間の合計） 会場：コンパニホール 文化ホール 大友氏館跡の国史跡指定を記念し大友氏遺跡を全国に発信することを目的に中世都市研究会と共催で開催。
	平成13年9月1日	中世大友府内町跡現地説明会（県教委と共催）	参加者：500人
	平成14年3月3日	中世大友府内町跡・大友氏館跡現地説明会（県教委と共催）	参加者：400人
	平成14年3月10日	高崎山城登城	参加者：100人
平成14年度 2002	平成14年6月3日～18日	大友氏館跡第10～12次調査現地説明会	参加者：350人
	平成14年12月15日	大友氏館跡第12次調査現地説明会	参加者：100人 大友氏館跡南東部の調査でみつかった14世紀後半の建物跡などを担当（中西）が解説。
平成15年度 2003	平成16年3月15日	〔広報誌〕文化財だより 2003年度第12号	高崎山を中心として、天然記念物、史跡の視点から特集し、市民に向けて広く情報の発信を図った。
平成16年度 2004	平成16年9～10月	大友氏遺跡関連フェスタ	市美術館・資料館との連携し「南蛮憧憬-ザビエル-宗麟、そして府内」を共通テーマに特別企画 大友氏関連遺跡フェスタを実施し下記の行事を行った。
	平成16年9月26日	大友氏関連遺跡フェスタ 大友氏館跡現地説明会	参加者：150人 整理作業の見学、大友氏関連遺跡のビデオ鑑賞
	平成16年10月10日	大友氏関連遺跡フェスタ 上野史跡探訪	参加者：120人 上野台地の所在する大友氏ゆかりの地を歩く
	平成16年10月2日（第1日目）	「北部九州中近世城郭研究会」での高崎山登山、高崎城見学	参加者：80人 北部九州中近世城郭研究会主催。市が共催
	平成16年10月3日（第2日目）	「北部九州中近世城郭研究会」シンポジウム 高崎城をめぐる諸問題-大友の城を考える	参加者：120人 北部九州中近世城郭研究会主催。市が共催 金池会館にて実施
平成17年度 2005	平成17年8月7日	大友氏遺跡・近世府内城跡現地説明会及び現地見学	参加者：67人
	平成17年10月1日～8日	大友氏遺跡フェスタ2005 講座・展示・発掘体験・コンサート	大友氏館跡や中世大友府内町跡の発掘調査成果の公開を軸にしながら、幅広い層に大友氏遺跡の調査研究の成果を伝えることを目的に、講座、展示、発掘体験、コンサートを実施。 会場：大分銀行赤レンガ館1階ロビー他 府内のまちの発掘で出土した食生活を示す遺物などを展示。大分県埋蔵文化財センター・府内大友フェスタと共催。
	平成17年10月1日～8日	展示「府内町は、グルメタウン」	親子を対象とした体験発掘を大友氏館跡で実施。
	平成17年10月8日 午前	発掘体験「大友氏館跡親子体験発掘」	会場：大分銀行赤レンガ館2階大ホール 食文化研究者である江後道子氏による講演会を実施。
	平成17年10月8日 午後	講演「大友時代の南蛮貿易と食文化」	会場：大分銀行赤レンガ館2階大ホール 西洋音楽発祥の地・府内メモリアルコンサートとして、リコーダーとチェンバロのデュオによる演奏会。有料イベント。NPO法人おおいた豊後ルネサンス主催。大分市教育委員会後援事業。
	平成17年10月8日 午後	コンサート「空飛ぶ笛-ルネサンスからクラシックまでのスーパーDUO」	大友氏館跡歴史公園の整備イメージ図などを含む大友氏遺跡初回の遺跡パンフレット。全16頁。
	平成18年3月	〔広報誌〕よみがえる大友館と南蛮都市	大友氏館跡の国指定史跡5周年を記念した講演・パネルディスカッション、現地説明会を実施。
平成18年度 2006	平成18年9月15日	〔広報誌〕文化財だより 2006年度第号	大友氏館跡の国指定史跡5周年を記念した講演・パネルディスカッション、現地説明会を実施。
	平成18年10月8日	中世大友再発見フォーラムⅡ	参加者：450人 大友氏館跡中心建物想定で見つかった礎石建物跡の周辺の調査成果を調査担当者（中西）が解説。
	平成18年10月8日（午前）	中世大友再発見フォーラムⅡ 午前の部 大友氏遺跡現地説明会（大友氏館跡第17次調査）	参加者：500人 会場：コンパニホール 文化ホール 「府内のまち 宗麟の栄華」をテーマとした講演会・パネルディスカッションを実施。
	平成18年10月8日（午後）	中世大友再発見フォーラムⅡ 午後の部 講演会・パネルディスカッション	参加者：120人
	平成18年11月5日	中世大友府内町跡現地説明会（県教委と共催）	
平成19年度 2007	平成19年10月6日	大友氏遺跡フェスタ2007 講演・展示・遺跡見学	発掘調査成果を公開する現地説明会、発掘調査や文献史料によってわかってきた府内の町を戦国時代の他都市の町と比較する講演会などを実施。
	平成19年10月6日（午前）	大友氏遺跡現地説明会（大友氏館跡第20次調査）	参加者：200人 大友氏館跡中心建物付近の調査成果を調査担当者（長）が解説。
	平成19年10月6日（午後）	講演会「大友の都市・豊後の城-地域の正当性-」	参加者：250人 会場：大分銀行赤レンガ館2階 大ホール 大友氏館跡の史跡指定に尽力された伊藤正義氏（元文化庁主任調査官・鶴見大学文学部教授）による講演会。映像でみる大友氏遺跡、よみがえる大分の遺跡2007 遺物説明会を共同開催。
平成20年度 2008	平成20年7月18日～10月19日	MUNDO南蛮（大友氏遺跡フェスタ2008）展示・講座・シンポジウム	大友氏館跡発掘調査10周年記念シンポジウム、大友氏館跡周辺の歴史を写真でふりかえる写真パネル展、長崎島の歴史や魅力を全国に発信していくとくみ「旅する長崎学」と連携した公開講座などを実施。MUNDOとはポルトガル語で「世界」という意味。
	平成20年7月27日、9月21日	旅する長崎学連携講座「比べてみれば、ふるさと歴史再発見!」	参加者：120人（講座①）、140人（講座②） 会場：大分銀行赤レンガ館2階 大ホール 南蛮貿易として栄えた府内と長崎。日本キリスト教史の舞台となり、国際色豊かな歴史を辿った大分と長崎について、町や人物、史跡などの比較をとおして、互いの歴史を学び、それぞれのふるさとを魅力を再発見し、相互の交流の歴史を学びながら、地域間の活性化をはかるために開催。7月と9月に2回実施した。
	平成20年7月27日	大友氏館跡現地説明会（大友氏館跡第21次調査）	参加者：150人 出土した中国元時代の高級陶磁器を公開。大友氏館跡東側の調査成果を調査担当者（長）が解説。
	平成20年10月5日	大友氏館跡発掘調査10周年記念シンポジウム	参加者：130人 会場：大分銀行赤レンガ館2階 大ホール 大友氏館跡発掘10周年を記念したシンポジウム。考古学、文献史学の最新研究を市民に分かりやすく紹介。
	平成20年9月26日～10月6日	写真パネル展「大友氏館跡周辺の今、むかし」	会場：大分銀行赤レンガ館ロウンブラザ支店内 発掘調査10周年を迎えたことを記念し、これまでの調査成果写真や大友氏館跡が所在する顕徳町、元町の昭和30年代の風景などを写真パネル展示。
	平成20年4月25日	大友氏遺跡体験館 開館	出土品の展示や出土品を触れたりできる各コーナーを設けると共に映像を使った遺跡の解説なども行い中世の歴史を学び、調べ学習を行う施設。事業内容は75頁参照。
平成21年度 2009	平成21年7月21日～8月14日	「戦国時代と大友宗麟-戦国・大分のまち「府内」の姿」展	来館者：1964人 会場：九州電力大分支店社屋
	平成21年10月3日	大友氏遺跡フェスタ2009 講座・展示・旧跡めぐり	大友宗麟とその時代に活躍した戦国大名や南蛮貿易によって交易したベトナムなどの国との関係を通じて、戦国時代の様子を広く市民に紹介した。
	平成21年10月2日～10月12日	大友氏遺跡フェスタ企画展 戦国時代の世界-大友宗麟とそのライバル達-	会場：大分銀行赤レンガ館ロウンブラザ支店内 九州の覇権争いでライバルとなった戦国武将達についてパネルで紹介し、戦国時代に繁栄した戦国都市「府内のまち」の様子についてもパネルや発掘品を使って展示解説をおこなった。
	平成21年10月3日 午前	大友府内旧跡めぐり	参加者：96人 市民に大友氏遺跡について身近に感じてもらえる機会とするため、戦国時代のまちにあった大友氏の屋敷跡や昔の面影を残す寺社などのゆかりの地を職員が解説を行いながら巡った。
	平成21年10月3日 午後	講演会「大友宗麟とその時代」・パネルディスカッション	参加者：164人 会場：大分銀行赤レンガ館2階 大ホール 講演会では広島大学から講師を迎え、大友宗麟と同時代に活躍した毛利元就をはじめとする戦国大名の動向やベトナムなどの国と南蛮貿易によって交易したことがらを通じて、当時の様子を広く市民に紹介。

## 大友氏遺跡の主な広報及び活用事業の一覧②

実施年度	発行日・開催日	名称	内容
平成22年度 2010	平成22年9月	大友氏遺跡ボランティアの募集	大友氏遺跡の保存整備について、市民が計画段階から深く関わる仕組みと組織づくり、さらに、今後の大友氏遺跡の保護や管理、運営について協働できる市民ボランティアの育成を目的として募集を行った。 9月の第1次募集では、80名以上の応募があった。9月18日の第1回目の例会では文化財課から大友氏遺跡事業及び募集の経緯等の説明を行い、会の代表者3名を決定した。その後、2次募集が終了した段階で100名を超える団体となった。平成23年1月に「おおいた応援隊 大友歴史保存会」として正式発足し、活動を始めた。
	平成22年10月2・3日	大友氏遺跡フェスタ2010 ここから描こう ここから織ろう 大友・おおいた絵巻	大友氏ゆかりの史跡を巡る「大友府内旧跡めぐり」、大友氏館跡等の発掘現場での遺跡説明会、「大友」に関連するまちづくり、ものづくり、史跡公園の利用方法等について市民と意見交換を行うシンポジウムを開催した。
	平成22年10月2日	大友府内旧跡めぐり	参加者：58人 今も残る大友氏ゆかりのある場所や大友氏館跡の発掘現場などをボランティアガイドと文化財職員が解説を行いながら案内した。
	平成22年10月3日 午前	大友氏遺跡現地説明会（大友氏館跡第23次調査）	参加者：180人 大友氏館跡中心建物推定地東側状況や発掘された品々を公開するとともに、現在までの調査成果を担当者（長）が解説した。
	平成22年10月3日 午後	支援グループのレポート&大友氏ゆかり座談会 「語ろう！ 大友氏遺跡」	参加者：68人 会場：大分銀行赤レンガ館2階 大ホール 大友氏遺跡の将来像に焦点をあてた座談会。大友氏に関連した支援グループの方々から大友氏の魅力を語ってもらった。また、「大友」に関連するまちづくり、ものづくり、史跡公園の利用方法について意見交換を行った。
	平成23年2月21日～3月21日	大友氏遺跡PR 活動in 大分空港	大分空港ターミナル内において、大友氏遺跡及び大友氏遺跡体験学習館の広報活動として、大友氏遺跡や大友宗麟について解説したパネル展示を実施した。
	平成23年2月27日	楽市楽座 大おもて会	参加者：1500人 会場：大友氏遺跡体験館多目的広場 大友氏時代の行事であった「大おもて」を現代風に構成を置き換え、大友氏遺跡の周知と当時のような賑わいを創出する目的で、ボランティアグループ「大友歴史保存会」が主体となり開催した。
平成23年度 2011	平成23年10月1日	大友氏遺跡フェスタ2011 体験・探検・大発見	大友氏ゆかりの史跡を巡る「大友府内旧跡めぐり」、大友氏館跡等の発掘現場での遺跡説明会、市民の皆さんが持ち寄ったお宝のいわれを講師の先生方に解説頂くイベントを開催した。
	平成23年10月1日	大友府内旧跡めぐり 甲冑体験	参加者：20人 会場：大友氏遺跡体験学習館 大友氏遺跡体験学習館を出発し、大友氏ゆかりの旧跡を「大友歴史保存会・大友府内旧跡巡り部会」の皆さんの案内で散策した。また体験館では戦国時代の甲冑体験も行った。
	平成23年10月2日 午前	大友氏遺跡現地説明会（大友氏館跡第26次調査）	参加者：120人 大友氏館跡中心建物推定地西側付近の調査状況や発掘された品々を公開するとともに、現在までの調査成果を担当者（五十川）が解説した。
	平成23年10月2日 午後	大友氏遺跡フェスタ2011 「発見!! 大友お宝鑑定大会in 赤レンガ館」	参加者：70人 会場：大分銀行赤レンガ館2階 大ホール 「あなたのお家のお宝鑑定します！」と題して、市民の皆さんが持ち寄ったお宝の価値やいわれを、目利き鑑定士（講師）の先生方に解説頂いた。
平成24年度 2012	平成24年10月6日	大友氏遺跡フェスタ2012 講演・パネル展・遺跡見学会	大学・市民ボランティア団体・行政による共同開催。大友氏遺跡の現地説明会をはじめ、「大航海時代と豊後府内」をテーマにしたシンポジウムなどを実施。
	平成24年10月6日 午前	大友氏遺跡・中世大友府内町跡発掘調査現地説明会（中世大友府内町跡第97次調査）	参加者：150人 中世大友府内町跡第97次調査は、近年稀に見る大規模調査であり、古くから伝わる「府内古図」に記された寺小路の様子明らかとなった。発掘調査中の状況や出土した遺物を調査担当者（長）による解説を交え見学会を行った。
	平成24年10月6日 午後	「府内に伝わった西洋文化を訪ねてみよう！」	参加者：30人 大分市中心部に位置する遊歩公園には、戦国時代に府内に伝わった数々の西洋文化を紹介する彫刻が設置され、市民に広く親しまれている。西洋美術や演劇・音楽などの西洋文化が、当時の日本でいち早く府内に伝わった経緯を案内しながら散策を行った。
	平成24年10月7日	大友氏遺跡シンポジウム 「大航海時代と豊後府内」	参加者：148人 別府大学文化財セミナーと題して、別府大学と大分市教育委員会文化財課の合同でシンポジウムを行った。
	平成24年10月1日	【広報誌】大分市文化財たより 2012年度号の発行	大友宗麟や大友氏遺跡に関する取り組みをテーマとし、大友氏遺跡を、大分市の新たなシンボルとして市民の方や全国の方から親しまってもらえるような史跡公園となることをめざし整備を行っていること、大友氏遺跡の普及活動やこれまでの整備の経過を紹介した。
平成25年度 2013	平成24年12月8日	フェスティビタスナタリスin Bungo 戦国クリスマス祭公まつり	会場：大友氏遺跡体験館多目的広場 市民ボランティアグループ「おおいた応援隊 大友歴史保存会」が主体となって実施。戦国時代のクリスマスをイメージしたイベント。（大分市誕生100周年市民企画実施事業）
	平成25年8月10日	大分市誕生100年記念事業 「南蛮文化国際フォーラム -世界から宗麟を学び、おおいたを知る-」	参加者：1493人 会場：ホルトホール大分 大ホール 誕生100年を迎えた大分市と創立100周年を迎えた上智大学の主催事業。郷土の戦国大名大友宗麟の功績と、国際貿易都市として繁栄した豊後府内について、遠くイギリスや上智大学から講師を招いての講演、パネルディスカッション、市民団体によるアトラクションなどを行った。
	平成25年9月～12月の間に全8回開催	大分市・上智大学連携講座 「大航海時代の歴史探訪～大友宗麟とザビエルの邂逅を通して～」	参加者：のべ1178人 会場：上智大学四谷キャンパス 全8回にわたり、平成24年度に上智大学において開講した公開講座を大分市でも実施した。多くの市民の方々に大友宗麟の時代について学び、大分に誇りを持っていただくことができた。
	平成25年9月29日 10月5・6日	大友氏遺跡フェスタ2013 10月5・6日	セミナー「豊後から考える世界史2013」 参加者：167人 会場：大分銀行赤レンガ館2階 「地域から考える世界史プロジェクト実行委員会」と連携して、中高生を対象に実施。市内の高校生による研究発表や中学校教諭による模擬授業などを実施。（文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」）
	平成25年9月29日	セミナー「豊後から考える世界史2013」	参加者：167人 会場：大分銀行赤レンガ館2階 「地域から考える世界史プロジェクト実行委員会」と連携して、中高生を対象に実施。市内の高校生による研究発表や中学校教諭による模擬授業などを実施。（文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」）
	平成25年10月5日	大友氏遺跡発掘調査現地説明会（大友氏館跡第29・30次調査）	参加者：121人 発掘調査中の大友氏館跡の庭園の状況や発掘調査された品々を公開するとともに、現在までの調査成果を担当者（松浦）が解説した。
	平成25年10月5・6日	大友氏PRコーナー	会場：大分城址公園（生活文化展会場内） 大分東明高校郷土史研究部による研究展示の説明やDVDの放映、体験工房などを実施
	平成26年1月18日	市民意見交換会 「知ろう！語ろう！未来の大友氏歴史公園」	参加者：88人 会場：ホルトホール大分 302・303会議室 国立歴史民俗博物館の小島道裕氏の講演と大友氏遺跡の都市公園としての役割や将来の姿、歴史公園に期待するものなどをテーマに、市民意見交換会を実施。（文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」）
	平成26年2月8日・3月1日	戦国時代三都市講演会～府内・臼杵/博多/山口～ 第一回「戦国都市！博多と山口 その実像に迫る」 第二回「三都市の中の南蛮貿易都市豊後府内と臼杵」	参加者：151人（第1回）、170人（第2回） 会場：大分銀行赤レンガ館2階大ホール 豊後大友氏の戦国時代の都市である府内と臼杵、中世商都博多、大内氏の本拠である山口の成り立ちやまちの比較、関係性について6人の講師により2回にわたって講演が行われた。（文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」）
	平成26年度 2014	平成26年5月24日	キリシタン・南蛮文化交流 首長サミット
平成26年10月4日・5日		大友氏遺跡フェスタ2014	大友氏遺跡や中世大友府内町跡の発掘調査成果を広く市民に知ってもらうことを目的に、遺跡の現地説明会と市民対象のセミナー、生活文化展での体験活動を実施した。
平成26年10月4日		遺跡説明会（大友氏館跡・中世大友府内町跡・旧万寿寺跡）	参加者：143人 発掘調査中の大友氏館跡の庭園や中世の町の様子を発掘された品々とあわせて公開するとともに、現在までの調査成果を調査担当者（五十川・長）が解説しながら見学会を行った。
平成26年10月4日・5日		歴史体験ブース	会場：大分城址公園（生活文化展会場内） 染物体験や紙芝居、大友氏に関連した地域に残る文化財について解説したパネル展示などを実施
平成26年8月10日・10月5日		戦国時代 館文化セミナー 戦国時代の庭園と茶の湯	参加者：150人（第1回）、101人（第2回） 会場：ホルトホール大分3階大会議室 大友氏の出身地、小田原。茶聖千利休のふるさと、堺。そして、三好氏により当時の京文化が直接もたらされた徳島県勝瑞。こうした地域の庭園文化や茶の湯文化を学び、戦国時代の大友館を彩った文化を考える2回のセミナーを実施。（文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」）
平成26年11月15日		文化遺産復刻祭	参加者：2424人 会場：大分いこいの道北側広場 豊後府内の「茶」「衣」「唱」「書」をテーマに、楊志館高校理科科、大分芸術文化短期大学茶道部、明日香美容文化専門学校、大分東明高校コース部、大分高校書道部など大分の若者たちによる豊後府内の文化継承と復刻を行った。そのほかにも豊後府内の「武」「音」をテーマに、豊後大友宗麟鉄砲隊、大分市歴史資料館などによって伝統文化を披露した。（文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」）
平成26年12月15日		【記者発表】大規模地震の痕跡を発見	中世大友府内町跡第105次調査区において大規模地震の痕跡を発見。地震によって引き起こされた液状化の痕跡である礫砂が16世紀中頃から18世紀前半～中頃までの間に形成されていることが判明。県内で大規模な地震痕跡が発掘調査によって明確に確認されたのは初めてのことである。
平成27年3月13日		【広報誌】「おおいた文化遺産」	史跡解説や文化遺産の見所を記載した小冊子を刊行。1万部を市内公民館や文化施設等に配布。

# 大友氏遺跡の主な広報及び活用事業の一覧③

実施年度	発行日・開催日	名称	内容
平成27年度 2015	平成27年8月3日～9日	大分銀行宗麟館「宗麟の栄華と戦国おおいの城」展	見学者：475人 会場：大分銀行宗麟館2階 ソーリススクエア 歴史資料館が主催の「まちが歴史展示館」事業の一環で、大友氏遺跡や市内に残る山城などの周知を目的に実施。期間中は「家紋の図鑑」や「風鈴絵付け体験」などを実施。
	平成27年10月3・10・11日	大友氏遺跡フェスタ2015	大友氏遺跡に関する市民意見交換会や大友氏館跡の現地説明会などを通して、450年前に栄えた豊後府内に触れるイベントを実施。大友氏館跡現地説明会では発掘調査中の庭園跡の状況や調査成果を解説。
	平成27年10月3日	市民意見交換会	参加者：82人 会場：ホルトホール大分3階大会議室 「知ろう！語ろう！明日の大友氏遺跡歴史公園」をテーマとして、最初に文化庁文化財調査官による基調講演と市民意見交換会のためのワークショップを実施した。
	平成27年10月10日・11日	歴史体験ブース	参加者：1000人 会場：大分城址公園（生活文化展会場内） 大友氏に関するパネル展示や紙芝居、ゴム鉄砲体験や甲冑の着付け体験を実施
	平成27年10月10日	遺跡現地説明会（大友氏館跡第33次調査）	参加者：130人 大友氏館跡庭園を中心とした遺跡の現地説明会を行い、担当職員（五十川）が市内内外から訪れた見学者を連れて庭園跡の一部を回遊しながら説明した。
	平成28年1月23日	おおいのキリシタン・南蛮文化遺産シンポジウム キリシタンの光と影 豊後の南蛮文化新たな展望へ	参加者：330人 会場：コンパルホール 文化ホール 別府大学より田中祐介教授を招き、大分県内のキリシタン遺跡の概要を講演いただき、「キリシタン・南蛮文化交流協定協議会」の6市町の市長によるパネルディスカッションを実施。新たに大分のキリシタン・南蛮文化遺産の「日本遺産」認定をめざすことを宣言した。
	平成28年2月7日・21日	都市間連携講座 つながる歴史つながる都市～	会場：ホルトホール大分3階大会議室 大友氏と関連する都市から講師を招き、2回の講座を実施。第1回は、大友氏のふるさとである小田原市の歴史と豊後府内と並ぶ国際貿易都市であった堺の様相を小田原市と堺市から職員を招いて講座を実施。第2回は島津氏とキリシタンとの関連について、鹿児島国際大学の三木靖先生と長崎市世界遺産推進室から職員を招き講座を行った。
	平成28年3月6日	中世大友府内町跡現地説明会（中世大友府内町跡第117次調査）	参加者：200人 発掘調査によって、町のルーツに繋がる戦国時代の町屋跡や道路跡が見つかり、文化財課職員（松浦・堀地）が遺跡の解説を行った。
	平成28年3月26日	錦町3丁目自治会遺跡見学会（中世大友府内町跡第117次調査）	参加者：25人 発掘調査地点の住民より自分たちの住んでいる町のルーツが知りたいという要望をふまえて実施。
	平成28年3月4日	【記者発表】中世大友府内町跡において戦国時代の道路を発見	長浜町、錦町の道路建設予定地で実施した発掘調査によって、戦国時代の町や道路跡が見つかった。それにより道路に沿った当時の町や生活の様子が解明され、貴重な品々が相次いで発見された。
平成28年度 2016	平成28年9月～11月	大友氏遺跡フェスタ2016	参加者合計：2686人（宗麟公まつりの体験ブース来訪者を含む人数） おおいのキリシタン南蛮ウォーク、都市間連携歴史講座、宗麟公まつりでの歴史体験ブースの開催、鶴ヶ城への登山イベントの4つのイベントを遺跡フェスタ2016と題して実施した。
	平成28年9月17日	おおいのキリシタン「南蛮ウォーク」 大友宗麟と南蛮文化発祥の地&シーサイドウォーク	大友氏遺跡庭園跡発掘現場、春日神社、浜の市などを巡った
	平成28年10月29日	鶴賀城に登ろう！	戦国時代の山城である鶴賀城の登山と現地解説
	平成28年11月12日	おおいのキリシタン「南蛮ウォーク」 大野川合戦まつりと戸次の町並みをたずねて	戸次本町町並み、長宗我部信親の墓、大野川合戦まつりなどを巡った
	平成28年11月19日	都市間連携講座 つながる歴史つながる都市～	会場：ホルトホール大分3階大会議室 参加者：120人 会場：ホルトホール大分3階大会議室 戦国時代に花開いたキリシタン・南蛮文化遺産の価値や魅力を多くの方に知ってもらい、地域振興に活用するために、岐阜市教育委員会職員による講演と「おおいのキリシタン・南蛮文化」の魅力や発信と、その活用について日田市・竹田市・臼杵市の方たちと交え、パネルディスカッションを行った。
	平成29年1月21日	シンポジウム 「日本ではじめてのキリシタン・南蛮文化が薫るまち おおい～我がまちの魅力発信と日本遺産に向けた取り組み～」	大分市歴史資料館開館30周年・大友氏館跡発掘調査20周年記念特別展「威風の舞台 よみがえる大友館」、戸次川の戦い430周年イベント、大友氏遺跡現地説明会、宗麟公まつりを一連のイベントとして実施
平成29年度 2017	平成29年10月・11月	大友氏遺跡フェスタ2017	参加者：76人 会場：大南市民センター大会議室 戦国時代の豊後と土佐をテーマに、2015年に公表された長宗我部元親の2巻の書状をもとに、長宗我部氏の研究者である津野倫明（高知大学）を講師に招き講演を行った
	平成29年10月28日	戸次川の戦い430周年イベント 歴史講座「戦国時代 豊後と土佐」	参加者：14人 戸次川の戦いの舞台の一つであった大友方の山城、鶴賀城を登るイベント
	平成29年10月28日	鶴賀城に登ろう	参加者：270人 大友氏館跡の庭園遺構及び中心建物全域をめぐる大規模な現地説明会を実施。整備工事に入る庭園遺構最後の見学会であった。大友氏館跡の東半分のほぼ全域を一望できる稀有な状況での説明会であった。発足したばかりの大友氏遺跡史跡ボランティアガイドが庭園遺構を調査担当者（五十川他）が中心建物跡および周辺の解説を行った。
	平成29年11月3日	大友氏遺跡現地説明会（大友氏館跡第36次調査）	参加者：1200人 「様々な大分発祥の文物に触れる」をテーマに南蛮がほちイベントや音楽イベント、月見茶会やワイン会などを実施。発足したばかりのFUNAIジュニアガイドによるガイドなどを実施した。
	平成30年9月30日	南蛮 B V N G O 交流館 開館(台風接近のため、10月1日より開館)	参加者：430人 会場：コンパルホール文化ホール 戦国時代における大友氏や豊後府内の歴史を再認識することを目的に、東京大学史料編纂所の本郷和久教授、マンガ家の宮下英樹氏、歴史アイドルの小日向えり氏を招き、講演やパネルディスカッションを行った。
平成30年度 2018	平成30年10月6日～11月25日	第33回国民文化祭・おおいの2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいの大会 おおいの大茶会 「おおいの府内 歴史絵巻800年」～まだ知らないおおいの歴史を解く～	参加者：230名 会場：ホルトホール大分3階大会議室 戦国大名大友氏の館跡が発見されてから20年がたち、これまでの発掘調査と歴史構造解明の取り組みで明らかになった「大友氏の館と権力」の実像について、最先端の研究者10名が、一般市民向けレクチャーを行った。20～50代の研究者による研究成果と未来についてもディスカッションを行った。
	平成30年10月6日～11月25日	大友氏館跡発掘調査あゆみ展 「ここまでわかった！大友氏館跡発掘20年」	参加者：571人 台風19号の影響に伴い規模を縮小して開催。 ひき馬体験や大友宗麟鉄砲による演武、野点茶会、現地説明会などを実施した。ゲームの大友宗麟や刀剣乱舞の舞台などにちなんで加藤野郎（俳優）、杉山紀彰（声優）、鈴木裕斗（俳優）、伊織もえ（コスプレイヤー）氏を、特別ゲストとして大友氏館跡に招き、演武やトークショーを行う予定であったが、台風の影響により特別ゲストの出演は中止となった。
	平成30年10月20日	中世大友再発見フォーラムⅢ 「戦国大名フォーラムin豊後府内 センゴク大名百花繚乱」	参加者：200人 大友氏館跡中心建物北側域の様相と東側の大門推定地付近の調査成果を担当職員（五十川他）と史跡ボランティアガイドが解説した。
	平成30年10月27日	大友氏遺跡フェスタ2018	参加者：150人 大友氏館跡北東部の発掘調査成果と、庭園の工事状況を説明。文化財課職員（五十川・五十川他）と史跡ボランティアガイドが解説した。
	平成30年11月3日	大友氏遺跡現地説明会（大友氏館跡第38次、庭園整備工事現場）	参加者：150人 大友氏館跡の北側の様相を解明するために実施した地点を担当職員（五十川他）が解説した。
	平成31年3月15日	【広報誌】大分市文化財だより2018	会場聴講：165人（申込200人）オンライン聴講：946人（講演時間内延べ人数） 会場：コンパルホール文化ホール 戦国時代に非常に貴重であった鉱物資源（硫黄と銀）の価値と意義について、各パネリストの対戦方式で、研究者が最新の情報をもとに解説した。シンポジウムの映像を記録し、3月より動画配信を行った。
	平成31年度 令和元年度 2019	令和元年5月12日	大友氏館跡発掘20周年シンポジウム 「戦国大名大友氏の館と権力」
令和2年度 2020	令和3年11月13日・14日	大友氏館跡イベント「宗麟 館で待つ！令和から戦国時代へ」 （大友氏遺跡フェスタ代替事業）	参加者：1,177人(2日間合計) FUNAIジュニアガイドによる庭園の解説や史跡*ラジカ*イ*による歴史講座。西洋音楽発祥の地にちなんだコンサートのほか、庭園の作り*ア*などを行い、大友氏遺跡の魅力を発信した。（大友氏遺跡フェスタ2020の中止をへて実施）
	令和3年3月7日	大友氏遺跡現地説明会（大友氏館跡第41次調査）	参加者：300人 大友氏館跡西側の様相を解明するために実施した1300mの調査範囲を担当職員（山本）が解説
令和3年度 2021	令和3年10月30・31日	第20回大友氏遺跡フェスタ・第8回宗麟公まつり	参加者：2,571人(2日間合計) 「大友宗麟」や戦国時代の文化を紹介する「宗麟公まつり」と大友氏遺跡フェスタを同時開催。FUNAIジュニアガイドによる庭園解説・遺物の解説、*ラジカ*イ*による庭園解説、現地説明会、歴史講座、むかし遊び、甲冑着付け体験、庭園作り*ア*などを実施。
		大友氏遺跡現地説明会（大友氏館跡第44次調査）	参加者：300人 大友氏館跡西側の様相を解明するために実施した1300mの調査範囲を担当職員（山本）が解説

※トーン部分は大友氏遺跡フェスタなどの一連のイベントを示す

# シンポジウム・講座一覧①

実施年度	開催日	名称	内容
平成13年度 2001	平成13年8月28日	夏休み特別連続講座	講義 ・後藤典幸（大分市教育委員会 文化財課 指導主事）「宗麟とその時代」
	平成13年8月29日		講義 ・永松正大（大分市教育委員会 文化財課 主事）「宗麟の町・国際貿易都市Funai」
	平成13年8月30日		講義 ・塩地潤一（大分市教育委員会 文化財課 主任）「宗麟と京文化」
	平成13年8月31日		講義 ・玉永光洋（大分市教育委員会 文化財課 主幹）「宗麟の館・城・港」
	平成13年9月1日	中世大友再発見フォーラム	記念講演 ・石井 進（東京大学名誉教授、鶴見大学客員教授、棚田学会会長） ・小野正敏（国立歴史民俗博物館考古研究部助教授）「戦国時代の館 その景観と機能」  公開シンポジウム テーマ「大友復活、地域活性、住民参加、街（都市）づくり」 コーディネーター 姫野 清高（大分市観光協会事業活動委員会委員長）パネリスト ・木下敬之助（大分市長）・長谷目源太（大分市市政アドバイザー） ・石井進（東京大学名誉教授）・加藤允彦（文化庁記念物課） ・高瀬忠重（山口県立大学教授）・松村紅実子（ふらんすこ代表）
平成13年9月2日	中世大友再発見フォーラム	中世都市研究会全国集会 テーマ「南蛮都市・豊後府内一都市と交易一」 報告 ・坂本喜弘（大分県教育委員会）「考古学から見た中世大友府内町の成立と構造」/コメント 玉井哲雄（千葉大学） ・鹿毛敏夫（大分県立先哲資料館）「文献・絵図からみた大友館と府内の町」/コメント 山村亜希（京都大学） ・高畠 豊（大分市教育委員会）「戦国時代豊後府内の貿易陶磁器」/コメント 森本朝子（福岡市教育委員会） ・大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館）「陶磁貿易からみた東南アジアと日本・豊後」/コメント 佐伯弘次（九州大学）  全体討論 コンパルホールロビーでの大友氏関連遺跡出土品のミニ展示開催	
平成17年度 2005	平成17年10月8日	大友氏遺跡フェスタ2005	講演 ・江後迪子（食文化研究者）「大友時代の南蛮貿易と食文化」
平成18年度 2006	平成18年10月8日	中世大友再発見フォーラムⅡ	特別講演 ・刈谷俊介「織田信長と大友宗麟」  パネルディスカッション テーマ「府内のまち 宗麟の栄華」 コーディネーター 豊田寛三（大分大学教授、大分市文化財保護審議会副会長） パネリスト ・刈谷俊介（俳優） ・河原純之（元文化庁記念物課主任文化財調査官、大友氏遺跡を活かしたまちづくり検討委員会委員長） ・伊藤正義（文化庁記念物課主任文化財調査官） ・三浦祥子（大分市歴史資料館協議会委員、元アドバンス大分編集長、ハヌマン代表） ・鹿毛敏夫（新居浜工業高等専門学校助教授、大分市文化財保護審議会委員）
平成19年度 2007	平成19年10月6日	大友氏遺跡フェスタ2007	講演会 ・伊藤正義（元文化庁文化財部記念物課文化財主任調査官、鶴見大学文化財学協教授）「大友の都市・豊後の城—地域の正統性—」
平成20年度 2008	平成20年10月5日	MUNDO南蛮（大友氏遺跡フェスタ2008）関連イベント 大友氏館跡発掘調査10周年記念シンポジウム 「ここまで分かった！豊後府内と大友館」	基調報告 ・坂本嘉弘「中世都市豊後府内の変遷」〜ここまでわかった！国際貿易都市豊後府内の実像〜 ・鹿毛敏夫「川からの中世都市」〜豊後府内の起源は大分川河原！〜 ・坪根伸也「大友館の変遷と府内周辺の方形館」〜この10年で何がわかったのか！〜 ・田中裕介「イエズス会豊後府内教会と付属墓地」〜豊後府内のキリタン文化に迫る！〜  シンポジウム テーマ「ここまでわかった！豊後府内と大友館」 コーディネーター 鹿毛敏夫（国立新居浜工業高等専門学校准教授） パネリスト ・坂本嘉弘（大分県教育庁埋蔵文化財センター次長兼調査第1課長） ・坪根伸也（大分市教育委員会文化財課専門員） ・田中裕介（大分県教育庁文化財課主幹）
平成21年度 2009	平成21年10月3日	大友氏遺跡フェスタ2009	講演会 ・本多博之「毛利元就と大友宗麟」 ・八尾隆生「バトナム陶磁とその故郷」  パネルディスカッション テーマ「大友宗麟とその時代」 コーディネーター 櫻井成昭（大分県立歴史博物館） ・本多博之（広島大学大学院文学研究科准教授） ・八尾隆生（広島大学大学院文学研究科准教授）
平成22年度 2010	平成22年10月3日	大友氏遺跡フェスタ2010 語らう!! 大友氏遺跡	活動報告会 ・玉永光洋「大友氏遺跡と歩んだ10年余り」 ・大倉正憲「伝統継承 豊後大友宗麟鉄砲隊」 ・新庄道臣「いざ出陣 大野川合戦まつり」 ・木下和子「扉を開けよう（仮称）大友氏遺跡市民応援隊」  大友ゆるり座談会 テーマ「ここから始まる!! 大友氏遺跡の未来」 ・木下和子（NPO総合学習研究所） ・樺山和夫（地域計画連合） ・大倉正憲（豊後大友宗麟鉄砲隊 隊長） ・釘宮健二（Active-おおい代表） ・新庄道臣（大野川合戦まつり実行委員会事務局長） ・玉永光洋（大分市教育委員会文化財課長）
平成24年度 2012	平成24年10月7日	大友氏遺跡フェスタ2012 別府大学文化財研究所第16回文化財セミナー「大友氏遺跡シンポジウム」	講演会 ・飯沼賢司（別府大学教授）「大友氏と倭寇とポルトガル人」 ・平尾良光（別府大学教授）「大航海時代の鉛の流通」 ・後藤晃一（大分県教育委員会）「メダルの流入プロセス」 ・上野淳也（別府大学助教授）「大友宗麟と石火矢」 ・田中裕介（別府大学教授）「豊後府内教会の歴史と墓地」 ・坪根伸也（大分市教育委員会）「豊後府内から出土する東南アジアの焼物たち」  パネルディスカッション テーマ「大航海時代と豊後府内」 コーディネーター 段上達雄（別府大学教授）

## シンポジウム・講座一覧②

実施年度	開催日	名称と備考	内容
平成25年度 2013	平成25年8月9日 平成25年8月10日	大分市誕生100年記念事業 上智大学創立100周年記念事業 「南蛮文化国際フォーラム」～世界から宗麟を学び、おおいたを知る～	8月10日 <b>研究発表</b> ・上野ヶ丘中学校2年生 2名「大友宗麟公とおおいた」  <b>記念講演</b> ・ウセレル・アントニ（オックスフォード大学助教授）「キリシタン大名大友宗麟と日本キリスト教の発展」 ・高祖敬明（上智学院理事長、上智大学総合人間学部教授）「世界に出かけた大友宗麟」  <b>パネルディスカッション テーマ「大友宗麟～悲運の覇者に歴史を語らせよ」</b> コーディネーター 川村信三（上智大学文学部教授） パネリスト ・釘宮 馨（大分市長） ・高祖敬明 ・ウセレル・アントニ ・小日向えり（歴史アイドル）
	平成25年9月29日	大友氏遺跡フェスタ2013 中学生セミナー「豊後から考える世界史2013」	・藤村泰夫（山口県立宇部西高校教諭）「地域から考える世界史プロジェクト」の説明 高校生による研究発表 ・大分東明高校 郷土史研究部「宗麟時代の民衆と信仰」 中学生・教諭によるセミナー ・進 麻美（滝尾中学校教諭）・大分市立滝尾中学校2年生「16世紀の豊後」 研究者による講演 ・鹿毛敬夫（新居浜工業高等専門学校准教授）「世界史と豊後府内」
	平成25年10月13日	大分市・上智大学連携講座 「大航海時代の歴史探訪」～大友宗麟とザビエルの邂逅をとおして～	<b>講座</b> ・テル・カレンゾ（日本二十六聖人記念館館長）「豊後丹生出土資料からみた大友豊後キリシタン」
	平成25年10月20日	大分市・上智大学連携講座 「大航海時代の歴史探訪」～大友宗麟とザビエルの邂逅をとおして～	<b>講座</b> ・日野直子（NPO法人豊後おおいたルネサンス理事長）「西洋医学発祥の地 大分」 ・川村信三（上智大学文学部教授）「キリシタン大名大友宗麟の再評価」
	平成25年11月10日	大分市・上智大学連携講座 「大航海時代の歴史探訪」～大友宗麟とザビエルの邂逅をとおして～	<b>講座</b> ・鹿毛敬夫（東京大学史料編纂所研究員、新居浜工業高等専門学校准教授）「ポルトガルとドイツ現存の大友宗麟画像」 <b>トーク&amp;ディスカッション テーマ「宗麟とザビエルについてのトーク&amp;ディスカッション」</b> コーディネーター 川村信三（上智大学文学部教授）・鹿毛敬夫
	平成25年11月17日	大分市・上智大学連携講座 「大航海時代の歴史探訪」～大友宗麟とザビエルの邂逅をとおして～	<b>講座</b> ・牧 達夫（NPO法人大友氏顕彰会理事長）「大分と大友宗麟」 ・玉永光洋（大分市教育委員会文化財課特別顧問）「再生！戦国時代大友城下町」
	平成25年12月1日	大分市・上智大学連携講座 「大航海時代の歴史探訪」～大友宗麟とザビエルの邂逅をとおして～	<b>講座</b> ・浅見雅一（慶應義塾大学文学部教授）「大友宗麟とキリシタンの信仰」
	平成26年1月18日	市民意見交換会 「知ろう！ 語ろう！ 未来の大友氏歴史公園」	<b>講演</b> ・小島道裕（国立歴史民俗博物館 教授）「大友氏と豊後府内～『小京都』をつつた戦国大名～」 <b>提案</b> ・高島 豊（大分市教育委員会文化財課）「大友氏遺跡の整備・活用に向けて」
	平成26年2月8日	戦国時代三都市講演会～府内・臼杵/博多/山口～ 第1回「戦国都市！！博多と山口 その実像に迫る」	<b>講演</b> ・古賀信幸（山口市史編さん室長）「大内氏の本拠一防州山口と大内氏館」 ・大庭康時（福岡市埋蔵文化センター長）「発掘！！博多遺跡群」 ・佐伯弘次（九州大学 人文科学研究院教授）「大友氏と博多」
	平成26年3月1日	戦国時代三都市講演会～府内・臼杵/博多/山口～ 第2回「三都市の中の南蛮貿易都市豊後府内と臼杵」	<b>講演</b> ・山村垂希（愛知県立大学 日本文化学部准教授）「大航海時代の都市と港」 ・神田高士（臼杵市教育委員会 文化・文化財課職員）「府内との兄弟都市臼杵を探る」 ・高島 豊（大分市教育委員会 文化財課職員）「南蛮文化発祥都市 豊後府内」
平成26年度 2014	平成26年5月24日	キリシタン・南蛮文化交流 首長サミット	<b>講演</b> ・津高 守（R九州取締役大分支社長）「地域の魅力を引き出す観光戦略」 ・股張一男（長崎市文化観光部次長）「地域と人が輝く“長崎さる”の取り組み」  <b>パネルディスカッション</b> コーディネーター 金田信子（別府大学文学部非常勤講師） パネリスト ・釘宮 馨（大分市長） ・三河明史（国東市長） ・工藤義見（日出町長） ・吉本幸司（津久見市長） ・中野五郎（臼杵市長） ・首藤勝次（竹田市長） ・津高 守（R九州取締役大分支社長） ・股張一男（長崎市文化観光部次長）
	平成26年8月10日	戦国時代の庭園と茶の湯	<b>講演</b> ・佐々木健策（小田原市文化財課職員）「大友氏と小田原北条氏」 ・五十川雄也（大分市教育委員会文化財課職員）「大友氏館の庭園跡」
	平成26年10月5日	大友氏遺跡シンポジウム2014 「館文化セミナー」 戦国時代の庭園と茶の湯	<b>講演</b> ・重見 高博（藍住町教育委員会学芸員）「三好氏勝瑞館の庭園跡と京文化」 ・降矢 哲男（茶道資料館学芸員）「京都・堺の茶の湯文化」
平成27年度 2015	平成27年10月3日	大友氏遺跡フェスタ2015 市民意見交換会 「知ろう！ 語ろう！ 明日の大友氏遺跡歴史公園」	<b>講演</b> ・中井將胤（文化庁文化財調査官）「大友氏遺跡に期待するもの」～全国中世館の整備事例から～  <b>意見交換会（ワークショップ） テーマ「大友氏遺跡の公園整備について」</b>
	平成28年1月23日	おおいたのキリシタン・南蛮文化遺産シンポジウム 「キリシタンの光と影 豊後の南蛮文化 新たな展望へ」	<b>基調講演</b> ・田中 裕介（別府大学文学部史学・文化財学教授）「おおいたのキリシタン遺跡」  <b>パネルディスカッション テーマ「キリシタン・南蛮文化遺産の活用について」</b> コーディネーター 佐野真紀子（株式会社 日本政策投資銀行 大分事務所副調査役） パネリスト ・佐藤樹一郎（大分市長） ・三河明史（国東市長） ・工藤義見（日出町長） ・川野幸男（津久見市長） ・中野五郎（臼杵市長） ・首藤勝次（竹田市長） ・首藤奉文（由布市長）
	平成28年2月7日	都市間連携歴史講座 「つながる歴史つながる都市」	<b>講演</b> ・佐々木健策（小田原市文化財課職員）「大友氏のふるさと小田原～中世のはじまりと終焉のまち～」 ・續伸一郎（堺市博物館学芸員）「戦国時代の貿易都市 堺の実像～堺環濠都市遺跡の発掘調査成果から～」
	平成28年2月21日	都市間連携歴史講座 「つながる歴史つながる都市」	<b>講演</b> ・三木靖（鹿児島国際大学短期大学部名誉教授）「鹿児島 島津氏と大友氏」 ・田中洋一（長崎市世界遺産推進室）「2つの世界遺産のあるまちを目指して」

## シンポジウム・講座一覧③

実施年度	開催日	名称	内容
平成28年度 2016	平成28年11月19日	大友氏遺跡フェスタ2016 都市間連携歴史講座 「つながる歴史つながる都市」	講演 ・増野晋次（山口市教育委員会 文化財保護課）「山口とバリエル」 ・中園成生（平戸市生月町博物館・島の館）「キリシタン信仰、前期の様相—平戸地方の事例を中心に—」
	平成29年1月21日	シンポジウム「日本ではじめてのキリシタン・南蛮文化が薫るまち おおいた」 ～我がまちの魅力発信と日本遺産に向けた取り組み～	基調講演 ・高橋方紀（岐阜市教育委員会 社会教育課）「日本遺産『信長のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜—魅力あるストーリーの醸成と活用—」 パネルディスカッション テーマ『『おおいたのキリシタン・南蛮文化』の魅力発信とその活用について』 コーディネーター 玉光光洋（大分市教育委員会 文化財課） ・高橋方紀（岐阜市教育委員会 社会教育課） ・黒木陽介（一般社団法人 日田市観光協会 営業企画事業部） ・後藤篤美（竹田市役所 南蛮文化振興室） ・安藤美聡（臼杵市教育委員会 文化・文化財課）
平成29年度 2017	平成29年10月28日	大友氏遺跡フェスタ2017 戸次川の戦い430周年イベント 歴史講座「戦国時代 豊後と土佐」	講演 ・津野倫明（高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門教授）「戸次川の戦いと長宗我部氏の命運」
	平成29年11月19日	大分市歴史資料館 開館30周年 大友氏館跡発掘調査20周年記念特別講演会 「館の構造と荘厳」	記念講演 ・重見 高博（藍住町教育委員会）「阿波『勝瑞城跡』について」 ・佐藤 力（山口市教育委員会）「周防大内氏館跡」 ・五十川雄也（大分市教育委員会）「豊後・大友氏『大友氏館跡』について」 パネルディスカッション テーマ「館の構造と荘厳」 コーディネーター 坪根 伸也（大分市教育委員会）
平成30年度 2018	平成30年10月20日	中世大友再発見フォーラムⅢ 「戦国大名フォーラムin豊後府内 センゴク大名百花繚乱」	報告 ・FUNAIジュニアガイド「大友氏遺跡の魅力」 基調講演 ・本郷 和人（東京大学史料編纂所 教授）「ゼロから楽しむ戦国時代—名門大友氏の魅力—」 パネルディスカッション テーマ「戦国大名大友氏の楽しみ方」 コーディネーター 佐藤樹一郎（大分市長） ・本郷 和人 ・宮下 英樹（マンガ『センゴク権兵衛』作者） ・小日向えり（歴史アイドル）
平成31 /令和元年度 2019	令和元年5月12日	大友氏館跡発掘20周年シンポジウム 「戦国大名大友氏の館と権力」	講義 ・五十川雄也（大分市教育委員会文化財課主査）「戦国大名居館の庭」 ・荒木 和憲（国立歴史民俗博物館准教授）「大友氏領国における茶の湯文化」 ・柴田 圭子（(公財)愛媛県埋蔵文化財センター調査課長）「大友氏館跡出土中国陶器の研究」 ・八木 直樹（大分大学福祉健康科学部准教授）「大友義統の家督相続時期について」 ・吉田 寛（大分県立歴史博物館企画普及課長）「豊後府内『唐人町』を考古学する」 ディスカッション テーマ「大友史研究の成果と未来」 ・橋本 雄（北海道大学大学院文学研究院准教授） ・鹿毛 敏夫（名古屋学院大学国際文化学部教授） ・坪根 伸也（大分市教育委員会事務局教育部次長兼文化財課長） ・長 直信（大分市教育委員会文化財課主査） ・広津留三紗（大分市歴史資料館文化財調査員）
令和2年度 2020	令和3年3月7日	おおいた大友学オンラインセミナー・ 戦国史シンポジウム in BVNGO(豊後) 「戦国大名と鉱物資源 硫黄大名 大友・島津VS.銀大名 毛利・豊臣・徳川」	基調講演 ・鹿毛敏夫（名古屋学院大学国際文化学部教授）「戦国大名と鉱物資源—硫黄大名VS.銀大名—」 討論1 テーマ「硫黄と銀の国際環境」 ・山内晋次（神戸女子大学文学部教授）「日本列島の硫黄とアジアにおける『硫黄の道』」 ・岡美穂子（東京大学大学院情報学環准教授）「戦国武将たちの南蛮船誘致合戦：銀の島日本に関する情報から」 討論2 テーマ「硫黄山・銀山の考古学」 ・遠藤浩巳（大田市教育委員会石見銀山課）「石見銀山遺跡の発掘調査と整備事業」 ・緒伸一郎（堺市博物館学芸課）「堺環濠都市遺跡から出土した豊後産の硫黄」 討論3 テーマ「サルファー・ラッシュ・シルバー・ラッシュの産地と社会構造」 ・伊藤幸司（九州大学大学院比較社会文化研究院教授）「『戊子入明記』と『硫黄の道』」 ・仲野義文（石見銀山資料館館長）「近世初期石見銀の産地と産業」
令和3年度 2021	令和3年10月29日	第20回大友氏遺跡フェスタ	講演会 赤神諒（小説家）「作家からみた宗麟公10大事件」
	令和4年1月29日 （4月16日に延期）	大友氏遺跡 史跡指定20周年記念シンポジウム 「歴史とつながる未来につなぐ よみがえる大友館」	活動報告 ・FUNAIジュニアガイド「伝えていきたい大友氏遺跡の魅力」 基調講演 ・小野正敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）「中世都市研究から見た大友氏遺跡」 報告 ・中西武尚（大分市教育委員会文化財課）「大友氏遺跡の将来計画について」 パネルディスカッション コーディネーター 小野 正敏 ・鶴田 巧（大分市中央地区自治会委員連絡協議会） ・佐藤 弘俊（NPO法人大友氏顕彰会） ・佐野真紀子（株式会社日本政策投資銀行大分事務所） ・佐々木健策（小田原市文化財課） ・坪根 伸也（大分市教育委員会文化財課）